

腹痛

1 お腹が痛いといいます

発熱していないか、吐き気がないか、下痢をしていないか、おなかを抱え込むように痛がらないか、激しい泣き方をしていないか、などに注意しましょう。

熱がないか
吐き気がないかなど
注意する

それから、おなかが張っていないか、全体的にさわってみましょう。それから指を少し立てぎみにして柔らかく押しながら移動させ、一定の場所に痛みを訴えるかどうかみてください。

指を少し立てて
やわらかく押しながら
移動して、
どこを痛がるかみる

排便でなおることもありますので、トイレに行かせても出ないなら、浣腸を試みましょう。大便とか尿とかが出たら、血液がないかどうか、いつものような大便や尿かどうか確認してください。

排便で
なおることも
あるので
トイレに
行かせる

トイレで出ないなら
浣腸をして
みましょう。

2 おなかが痛い時はどうするの？

おなかをさわってみましょう。

左上から下の方を痛がる時は、便秘のこともあります。

右下の方を痛がる時は、虫垂炎(いわゆる盲腸炎)などもありますので、発熱、吐き気、激しい泣き方など他の症状があるか観察してください。

次第に痛みが強くなる時は、診察を受けましょう。

お腹の
左上から下を痛がる時
便秘の場合も
右下の方を痛がる時
盲腸炎の場合も

3 痛みがおさまりだしたら？

簡単に痛みがおさまるようなら、少し水分を飲ませてください。

吐き気やおなかの痛みがあるときは、オレンジなどの柑橘系のもことや牛乳類は飲ませてはいけません。よけいに痛みが強くなるか、吐き気を示すこともあります。

オレンジなどの
柑橘系のもことや
牛乳などは
飲ませてはダメ！